

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成23年10月27日(2011.10.27)

【公開番号】特開2009-167232(P2009-167232A)

【公開日】平成21年7月30日(2009.7.30)

【年通号数】公開・登録公報2009-030

【出願番号】特願2008-3780(P2008-3780)

【国際特許分類】

C 0 9 J 157/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 157/00

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月5日(2011.9.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エチレン性不飽和単量体（A）を、乳化剤、重合開始剤及び水を必須成分とする水性媒体中で重合してなる粘着剤用樹脂組成物水性分散体を含む、25℃雰囲気下においてB型粘度計を用いて測定した粘度が1300mPa・s以下であり、またレオメーターを用いて測定した時の、せん断速度 1.0×10^{-2} (1/s)における粘度が 2.0×10^{-1} Pa・s以上 1.5×10^2 Pa・s以下であり、かつ 1.0×10^3 (1/s)における粘度が 3.0×10^{-2} Pa・s以上 8.0×10^{-2} Pa・s以下である事を特徴とする水性粘着剤組成物。

【請求項 2】

さらに、アルコールアルコキシレート構造を有する非イオン系界面活性剤化合物（B）およびポリオキシアルキレンアルキルエーテル構造を有する非イオン系界面活性剤化合物（C）のうち、少なくともいずれか一方を含むことを特徴とする請求項1記載の水性粘着剤組成物。

【請求項 3】

請求項1または2記載の水性粘着剤組成物を塗工し、粘着剤塗工物を得ることを特徴とする粘着剤塗工物の製造方法。

【請求項 4】

塗工を速度50～1000m/分で行なうことを特徴とする請求項3記載の粘着剤塗工物の製造方法。

【請求項 5】

塗工をカーテン方式で行なうことを特徴とする請求項3または4記載の粘着剤塗工物の製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の課題は、特にカーテン方式により水性粘着剤を塗工する場合において、塗工表

面のカスレやハジキなどがなく、かつ平滑な塗工表面を得る事ができる水性粘着剤組成物、粘着剤塗工物の製造方法、およびそれにより得られる粘着剤塗工物を提供する事にある。